

米国経済・金融概況 (2021年3月)

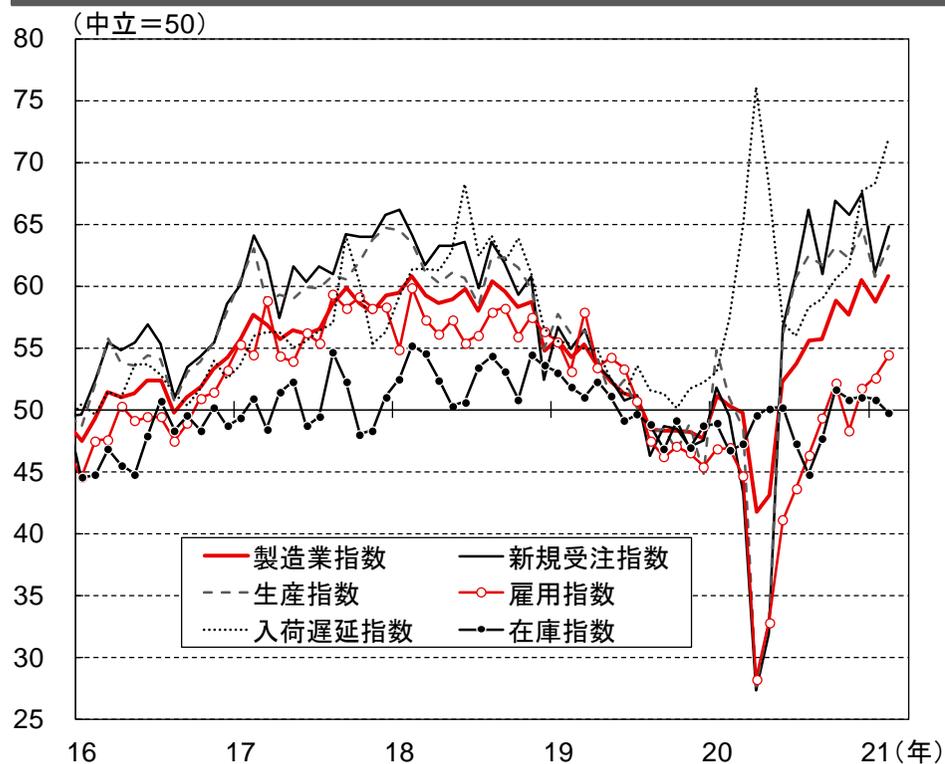
2021年3月16日

経営企画部経済調査室(ニューヨーク)

1. 企業活動

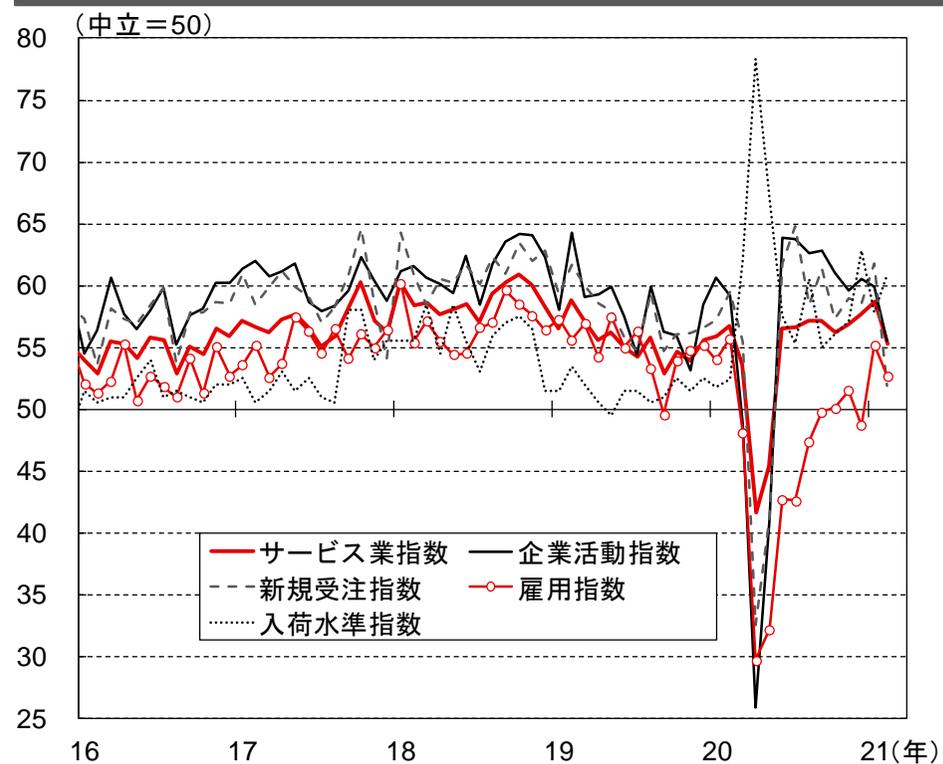
- 製造業の景況感・活動状況を表すISM製造業指数は、2月に60.8と拡大と縮小の境目である50を9ヵ月連続で上回り、前月比+2.1上昇。指数の構成項目をみると、在庫指数は49.7(同▲1.1)と前月比で低下した一方、新規受注指数は64.8(同+3.7)、生産指数は63.2(同+2.5)、雇用指数は54.4(同+1.8)、入荷遅延指数は72.0(同+3.8)と上昇。産業別にみると、1月同様、18産業のうち16産業が前月から活動の拡大を報告、2産業(「印刷等」、「石油・石炭製品」)が縮小を報告。リリースでは回答企業のコメントとして、入荷遅延や資材価格の高騰が取り上げられている。
- ISMサービス業指数は、2月に55.3と拡大と縮小の境目である50を9ヵ月連続で上回ったが前月比▲3.4低下。指数の構成項目をみると、入荷水準指数は60.8(同+3.0)と前月比で上昇した一方、企業活動指数は55.5(同▲4.4)、新規受注指数は51.9(同▲9.9)、雇用指数は52.7(同▲2.5)と低下。産業別にみると、18産業のうち17産業が前月から活動の拡大を報告し、1産業(「不動産・レンタル・リース」)が縮小を報告(1月は14産業が拡大、4産業が縮小を報告)。

ISM製造業指数の推移



(資料) 全米供給管理協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

ISMサービス業指数の推移

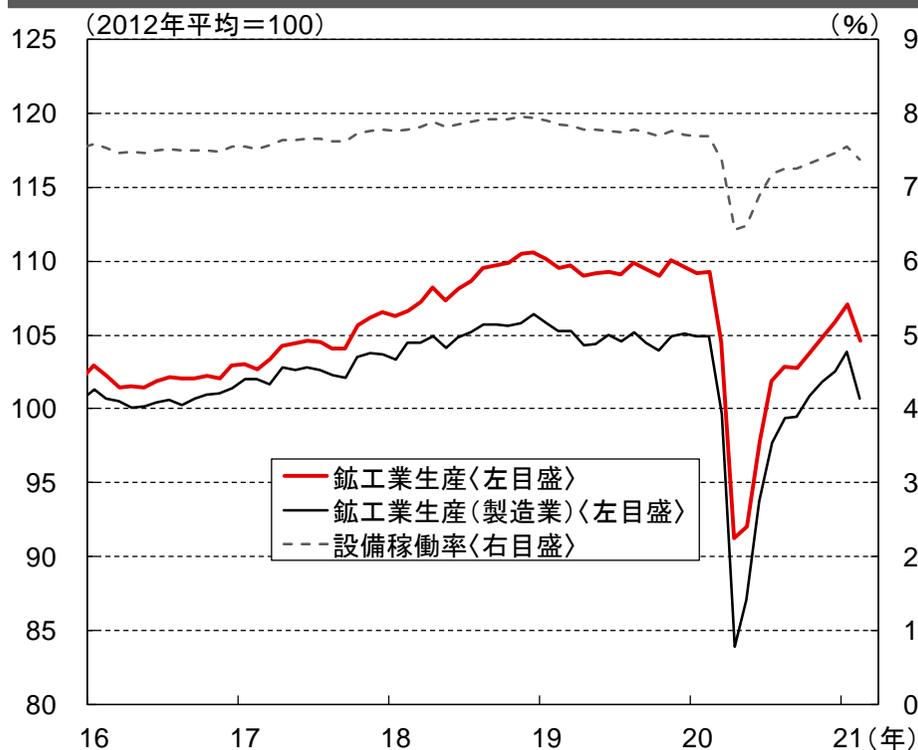


(資料) 全米供給管理協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

2. 生産

- 2月の鉱工業生産は前月比▲2.2%と5カ月ぶりに減少(1月:同+1.1%)。内訳をみると、「公益事業」は同+7.4%増加した一方、「鉱業」は同▲5.4%、「製造業」は同▲3.1%と夫々減少。統計発表元のFRBによると、南部を中心とした寒波が2月の結果に影響。寒波は、暖房需要の増加を通じて「公益事業」を押し上げた一方、操業停止を生じさせて「鉱業」と「製造業」を下押し。また、FRBは「製造業」の生産減少の背景として、半導体供給不足による自動車生産への影響も指摘。2月の鉱工業生産は前年比では▲4.2%減少。2月の設備稼働率は73.8%と前月から▲1.7%ポイント低下。
- 1月の耐久財受注は前月比+3.4%と9カ月連続で増加し、昨年12月(同+1.2%)から増加ペースが加速。内訳をみると、「機械」、「コンピュータ・電子機器」、「家具」は減少、「加工金属」は増加ペースが減速した一方、「一次金属」、「電機・家電」、「輸送用機器」で増加ペースが加速。設備投資の先行指標とされる非国防資本財受注(除く航空機)は1月に同+0.4%と、同じく9カ月連続で増加(同12月:同+1.5%)。

鉱工業生産と設備稼働率の推移



(資料)FRB統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

耐久財受注の推移

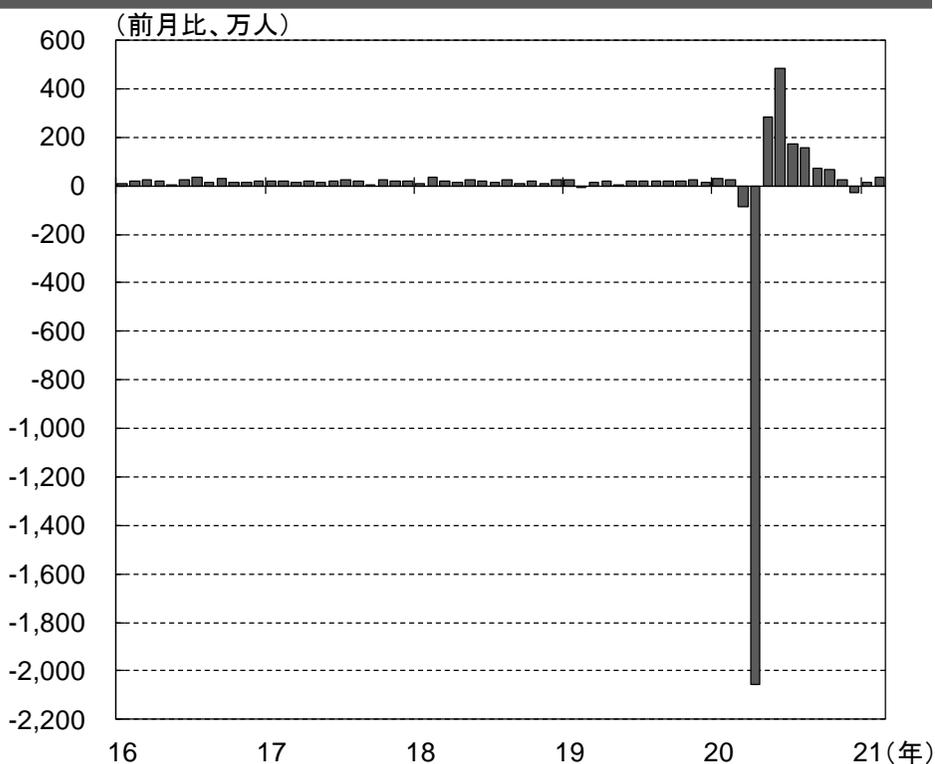


(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

3. 雇用

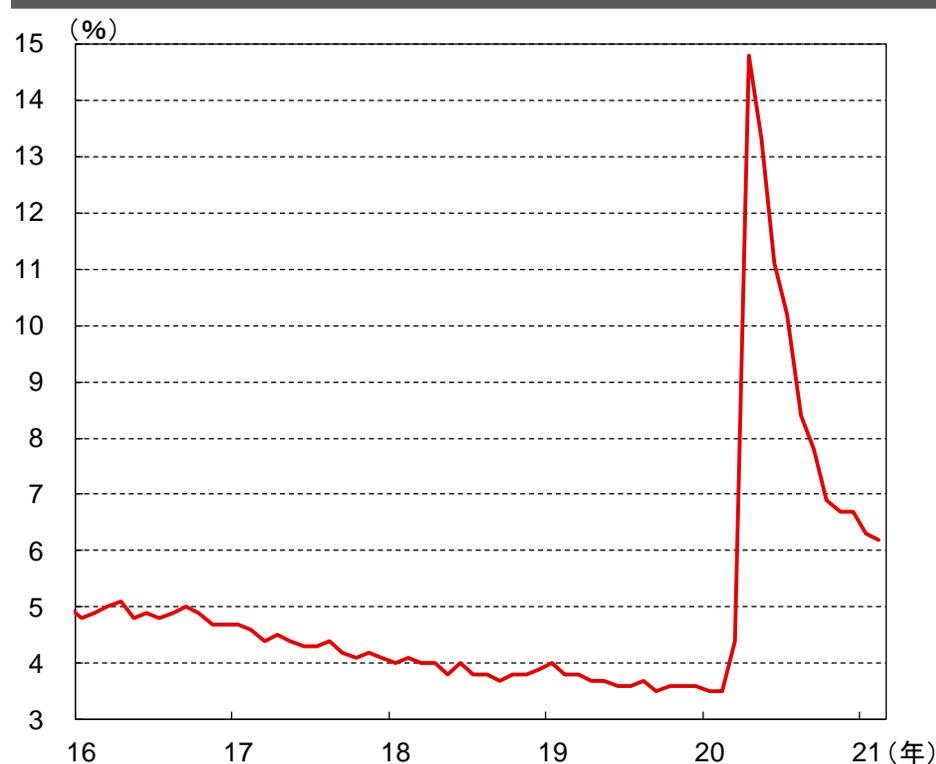
- 2月の非農業部門雇用者数は前月比+37.9万人と2ヵ月連続で増加(1月:同+16.6万人)。
- 業種別にみると、「政府」(前月比▲8.6万人)、「建設」(同▲6.1万人)などが減少した一方、パンデミックによる悪影響を最も受けてきた「レジャー・飲食」(同+35.5万人)が大幅に増加したほか、「専門・ビジネスサービス」(同+6.3万人)、「教育・医療・社会扶助」(同+4.4万人)、「小売業」(同+4.1万人)なども増加。
- 2月の失業率は6.2%と1月(6.3%)から小幅に低下し、労働参加率は61.4%と1月と同率。2月の時間当たり平均賃金(民間部門)は、前月比では+0.2%(1月:同+0.1%)、前年比では+5.3%上昇(1月:同+5.3%)。

非農業部門雇用者数の推移



(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

失業率の推移

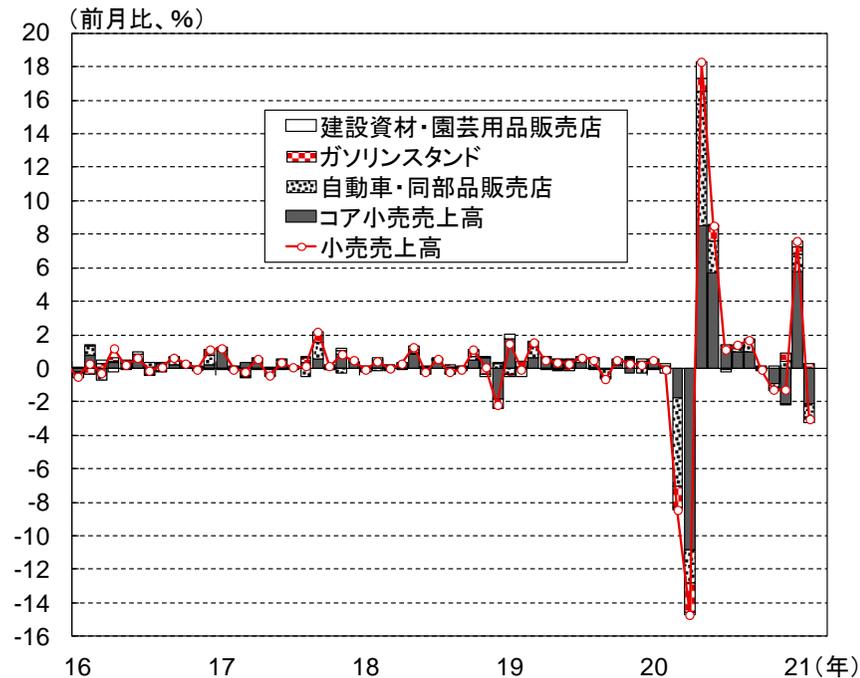


(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

4. 個人消費

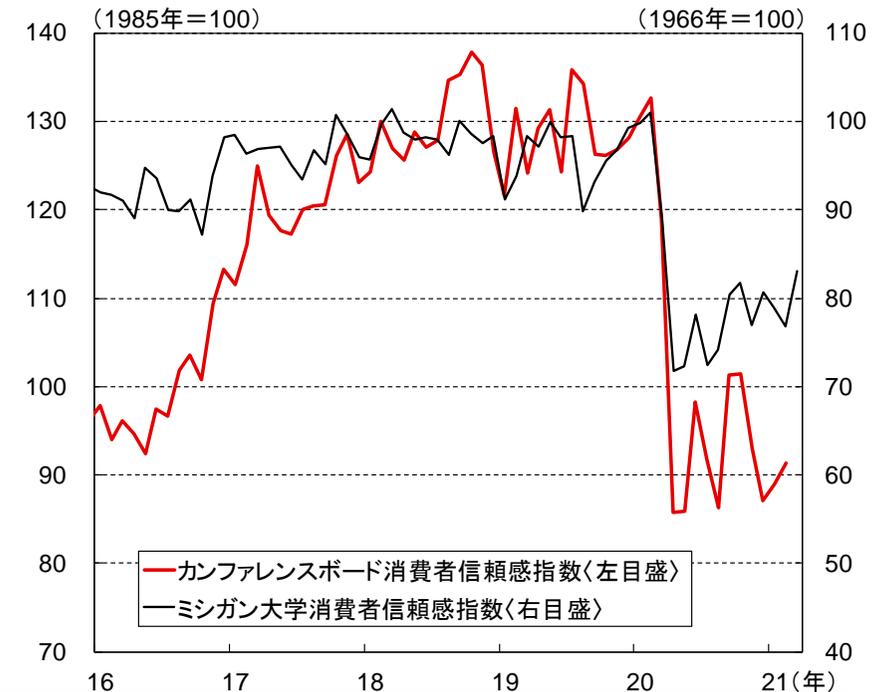
- 2月の小売売上高は前月比▲3.0%と前月の高い伸びの反動もあり2ヵ月ぶりに減少(1月:同+7.6%)。業種別にみると、「ガソリンスタンド」(同+3.6%)は増加し「食品・飲料品店」は横這いであった一方、その他の業種は全て減少。特に減少率が大きかったのは「スポーツ用品店等」(同▲7.5%)、「総合小売店(百貨店含む)」(同▲5.4%)、「無店舗小売業」(同▲5.4%)。
- 2月の小売売上高はパンデミック前の昨年2月比(前年比)では+6.3%増加した水準。但し、業種間の差は大きく、「飲食店」(同▲17.0%)、「衣服販売店」(同▲11.3%)、「電機・家電販売店」(同▲3.1%)は依然として減少した水準。
- 2月のカンファレンスボード消費者信頼感指数は前月比+2.4の91.3となり2ヵ月連続で上昇。期待指数は90.8(同▲0.4)と低下した一方、現況指数は92.0(同+6.5)と4ヵ月ぶりに上昇。現況指数の内訳をみると、「景気」と「雇用」の評価が共に改善。
- 3月のミシガン大学消費者信頼感指数(速報値)は83.0となり前月比+6.2上昇、昨年3月以来の高水準に。内訳をみると、現況指数は91.5(同+5.3)、期待指数は77.5(同+6.8)と夫々上昇。調査責任者のカーティン氏は、「ワクチンの接種が進んでいることや追加経済対策への期待が影響した」等とコメント。

小売売上高の推移



(資料)米商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

消費者信頼感指数の推移

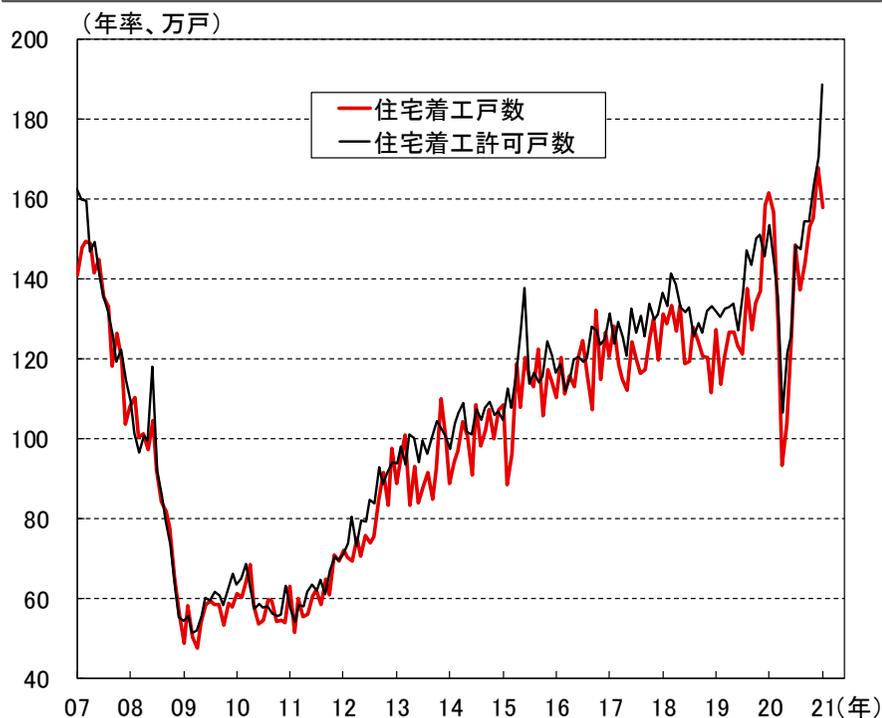


(資料)カンファレンスボード、ミシガン大学統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

5. 住宅

- 1月の住宅着工戸数は前月比▲6.0%減少して年率158.0万戸(季節調整済)と、5ヵ月ぶりに減少(昨年12月: +8.2%)。内訳をみると、変動の大きい集合住宅(2世帯以上)は同+17.1%増加した一方、一戸建住宅が同▲12.2%減少。着工戸数の先行指標である住宅着工許可戸数は同+10.7%の年率188.6万戸と3ヵ月連続で増加(12月: 同+4.2%)。
- 住宅販売について、全体の9割程度を占める中古住宅販売戸数は1月に前月比+0.6%増加して年率669.0万戸(季節調整済)。増加は2ヵ月連続。在庫率は2.1ヵ月(季節調整済)と同12月(2.3ヵ月)から更に低下。販売価格(中央値)は303,900ドル(季節調整前)と前年比+14.1%上昇し、同12月(同+12.6%)から上昇ペースが加速。
- 新築住宅販売戸数は1月に前月比+4.3%増加して年率92.3万戸(季節調整済)となり、2ヵ月連続で増加(昨年12月: 同+5.5%)。在庫率は4.0ヵ月(季節調整済)と3ヵ月ぶりに低下(同12月: 4.1ヵ月)。販売価格(中央値)は346,400ドル(季節調整前)と前年比+5.3%上昇するも、同12月(同+7.2%)から上昇ペースが減速。

住宅着工戸数と住宅着工許可戸数の推移



(資料) 米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

住宅販売戸数の推移

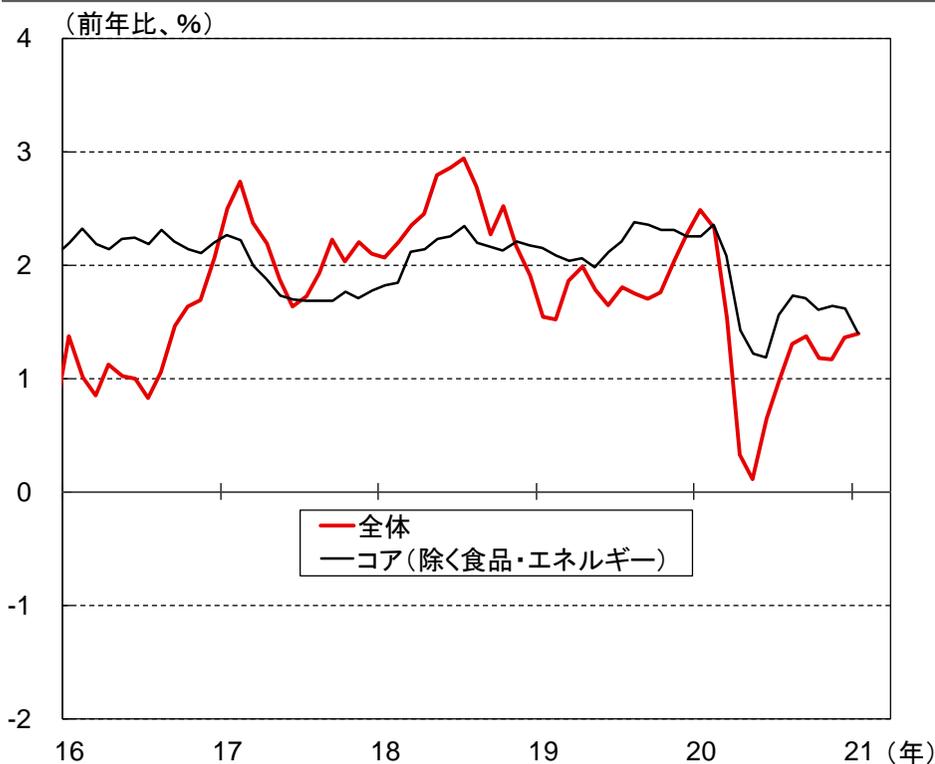


(資料) 全米不動産業協会、米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

6. 物価

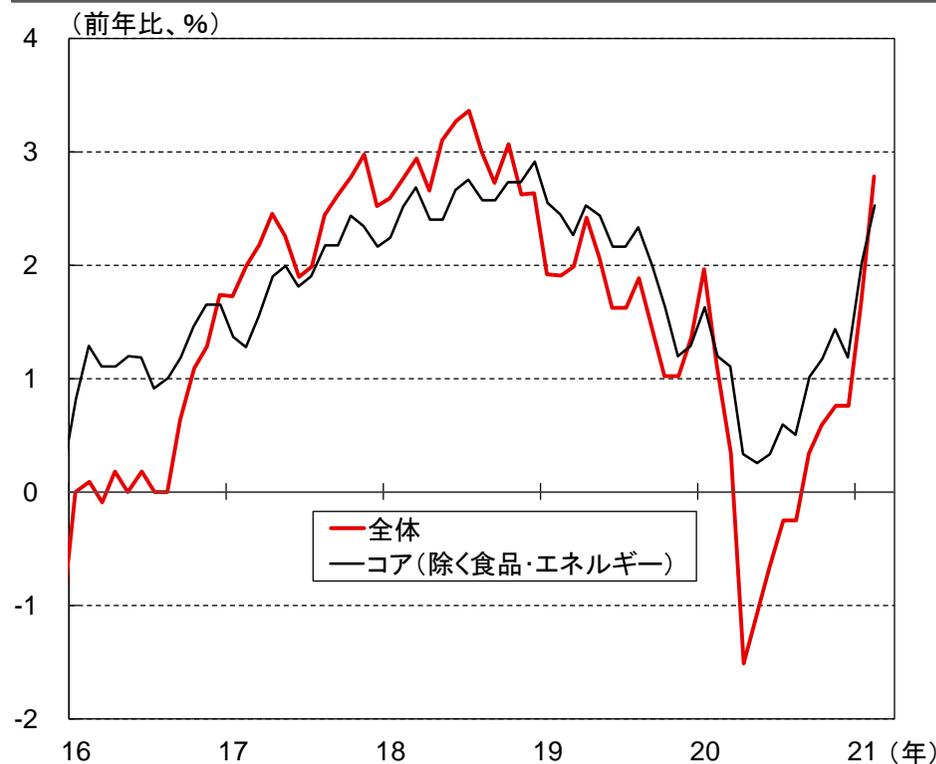
- 2月の消費者物価指数は前月比で+0.4%(1月:同+0.3%)、前年比では+1.7%(1月:同+1.4%)上昇し、共に上昇ペースが加速。前年比の内訳をみると「食品」(同+3.6%)と「住居」(同+1.5%)は1月から上昇ペースが減速した一方、「エネルギー」(同+2.4%)は上昇に転じ、「医療サービス」(同+3.0%)は上昇ペースが加速。「食品」と「エネルギー」を除いたコア消費者物価指数は前月比では0.1%(1月は横這い)、前年比では+1.3%上昇(1月:同+1.4%)。
- 2月の生産者物価指数は前月比+0.5%と、1月(同+1.3%)から上昇ペースが鈍化。前年比では+2.8%となり2018年10月以来の高い伸びに(1月:同+1.7%)。前年比の内訳をみると、「財」は同+3.4%、「サービス」は同+2.5%と夫々上昇。「食品」と「エネルギー」を除いたコア生産者物価指数は、前月比では+2.1%(1月:同+1.1%)、前年比では+2.5%上昇(1月:同+2.0%)。総合指数・コア指数ともに前年比の上昇ペースが高まっているが、一因にコロナ禍でのサプライチェーン停滞(供給の制約)が考えられる。

消費者物価指数の推移



(資料)米労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

生産者物価指数の推移



(資料)米労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

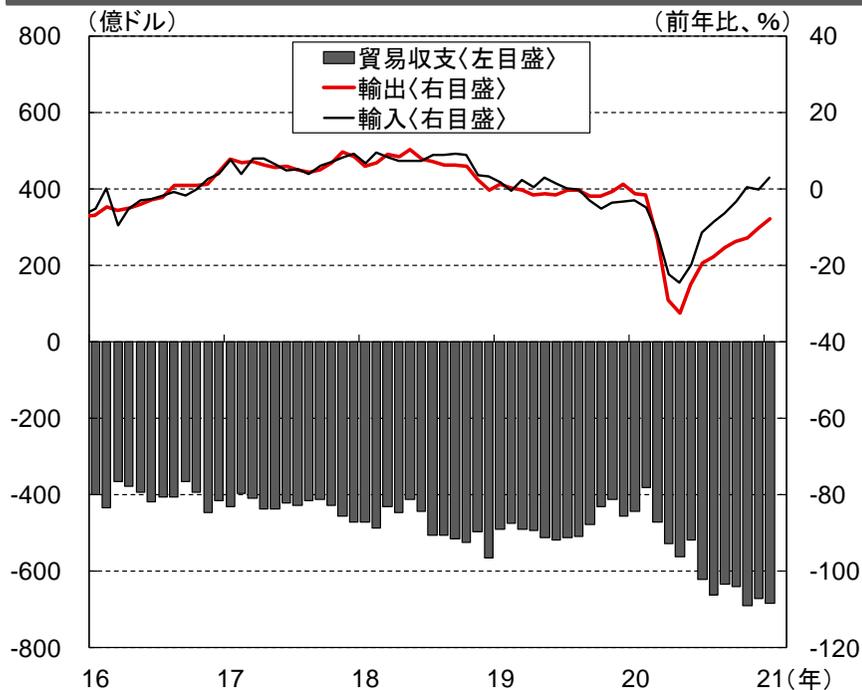
7. 国際収支

- 1月の貿易収支^(注1)(財・サービス)は682億ドルの赤字となり、赤字幅が前月比+1.9%拡大。財収支は854億ドルの赤字となり、赤字幅が同+1.6%拡大、サービス収支は172億ドルの黒字となり、黒字幅が同+0.5%拡大。
- 輸出は同+1.0%、輸入は同+1.2%夫々増加。財の輸出入を品目別にみると、輸出で増加率が大きかったのは「工業資材(石油含む)」(同+5.8%)や「資本財(自動車除く)」(同+3.9%)、輸入で増加率が大きかったのは「食品・飲料品」(+6.4%)や「消費財」(同+6.3%)。
- 財の貿易収支を国・地域別にみると、米国の貿易赤字(財)の3分の1程度を占める^(注2)中国との貿易赤字は1月に272億ドルとなり、赤字幅が前月比▲3.4%(同▲10億ドル)縮小。

(注1)貿易収支は国際収支ベース。但し、国・地域別内訳は通関ベース。

(注2)2020年の貿易赤字(財,通関ベース)は全体で9,050億ドル、うち対中国は3,108億ドル(全体の34%)。

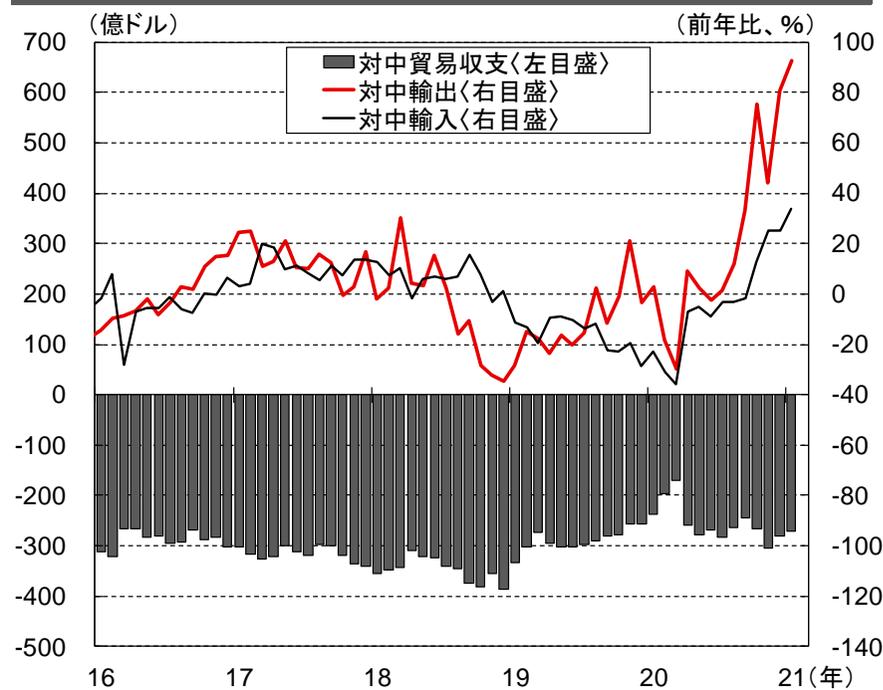
貿易収支と輸出入(財・サービス)の推移



(注)国際収支ベース。

(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

対中貿易収支と対中輸出入(財)の推移



(注)通関ベース。

(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

8. 金融市場動向

- 10年物国債利回りは、新型コロナウイルスワクチンの接種が進展するなか景気回復期待が強まり上昇傾向で推移。
- ダウ平均株価は、長期金利の上昇を受けて下落する局面もあったが、ワクチンの接種進展や追加経済対策法案の成立などを材料に上昇基調は維持され、足元では過去最高値を更新。

10年物国債利回りの推移



(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

ダウ平均株価の推移



(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

参考表: 主要月次経済指標の推移①

主要月次経済指標の推移

		20年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	21年1月	2月	3月
企業活動・生産	ISM 製造業指数	43.1	52.2	53.7	55.6	55.7	58.8	57.7	60.5	58.7	60.8	-
	ISMサービス業指数	45.4	56.5	56.6	57.2	57.2	56.2	56.8	57.7	58.7	55.3	-
	鉱工業生産指数(2012年平均=100)	92.1	97.8	101.9	102.9	102.8	103.8	104.8	105.8	107.1	104.7	-
	前月比(%)	0.9	6.2	4.2	1.0	▲0.1	1.0	0.9	1.0	1.1	▲2.2	-
	設備稼働率(%)	64.8	68.9	71.8	72.5	72.5	73.2	73.9	74.6	75.5	73.8	-
	製造業受注(億ドル)	4,117	4,382	4,669	4,698	4,759	4,822	4,883	4,963	5,094	-	-
	前月比(%)	7.7	6.4	6.5	0.6	1.3	1.3	1.3	1.6	2.6	-	-
	うち耐久財受注(億ドル)	1,926	2,075	2,319	2,329	2,378	2,421	2,452	2,483	2,567	-	-
前月比(%)	15.0	7.7	11.8	0.4	2.1	1.8	1.3	1.2	3.4	-	-	
雇用・個人消費	非農業部門雇用者数(前月比、万人)	283.3	484.6	172.6	158.3	71.6	68.0	26.4	▲30.6	16.6	37.9	-
	時間当たり平均賃金(ドル)	29.74	29.35	29.37	29.47	29.50	29.52	29.61	29.91	29.94	30.01	-
	前年比(%)	6.7	5.0	4.7	4.7	4.8	4.5	4.5	5.5	5.3	5.3	-
	失業率(%)	13.3	11.1	10.2	8.4	7.8	6.9	6.7	6.7	6.3	6.2	-
	個人所得(年率、億ドル)	202,461	200,327	201,739	196,243	197,622	196,278	193,862	194,992	214,539	-	-
	前月比(%)	▲4.0	▲1.1	0.7	▲2.7	0.7	▲0.7	▲1.2	0.6	10.0	-	-
	個人消費(年率、億ドル)	131,654	140,146	142,247	143,972	145,827	146,183	145,329	144,759	148,168	-	-
	前月比(%)	8.7	6.5	1.5	1.2	1.3	0.2	▲0.6	▲0.4	2.4	-	-
	貯蓄率(%)	24.7	19.0	18.4	14.6	14.1	13.2	12.5	13.4	20.5	-	-
	小売売上高(億ドル)	4,882	5,300	5,359	5,434	5,528	5,522	5,452	5,383	5,791	5,617	-
	前月比(%)	18.3	8.6	1.1	1.4	1.7	▲0.1	▲1.3	▲1.3	7.6	▲3.0	-
	自動車販売台数(年率、万台)	1,211	1,302	1,463	1,511	1,630	1,637	1,571	1,623	1,662	1,567	-
前月比(%)	38.9	7.5	12.3	3.3	7.9	0.4	▲4.0	3.3	2.4	▲5.7	-	
消費者信頼感指数	85.9	98.3	91.7	86.3	101.3	101.4	92.9	87.1	88.9	91.3	-	
ミシガン大学消費者信頼感指数	72.3	78.1	72.5	74.1	80.4	81.8	76.9	80.7	79.0	81.0	83.0	

(資料) 各種統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

参考表: 主要月次経済指標の推移②

主要月次経済指標の推移												
		20年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	21年1月	2月	3月
住宅	住宅着工戸数(年率、万戸)	104	127	149	137	144	153	155	168	158	-	-
	前月比(%)	11.1	21.9	17.5	▲7.7	4.7	6.5	1.5	8.2	▲6.0	-	-
	中古住宅販売戸数(年率、万戸)	401	477	590	597	644	673	659	665	669	-	-
	前月比(%)	▲8.2	19.0	23.7	1.2	7.9	4.5	▲2.1	0.9	0.6	-	-
物価	新築住宅販売戸数(年率、万戸)	70	84	98	98	97	97	84	89	92	-	-
	前月比(%)	22.5	20.3	16.5	▲0.2	▲1.2	0.0	▲13.1	5.5	4.3	-	-
	消費者物価指数(1982~84年=100)	256.4	257.8	259.1	259.9	260.3	260.4	260.2	260.5	261.6	263.0	-
	前月比(%)	▲0.1	0.5	0.5	0.4	0.2	0.1	0.2	0.2	0.3	0.4	-
国際収支	前年比(%)	0.1	0.6	1.0	1.3	1.4	1.2	1.2	1.4	1.4	1.7	-
	生産者物価指数(2009年11月=100)	117.3	117.7	118.4	118.5	118.7	119.5	119.2	119.3	121.0	121.7	-
	前月比(%)	0.4	0.3	0.5	0.2	0.3	0.6	0.0	0.3	1.3	0.5	-
	前年比(%)	▲1.1	▲0.7	▲0.3	▲0.3	0.3	0.6	0.8	0.8	1.7	2.8	-
輸出(財、億ドル)	輸出(財、億ドル)	898	1,028	1,153	1,188	1,225	1,263	1,276	1,336	1,357	-	-
	輸入(財、億ドル)	1,665	1,753	1,969	2,033	2,039	2,082	2,145	2,177	2,211	-	-
	貿易収支(財、億ドル)	▲767	▲724	▲815	▲845	▲814	▲819	▲869	▲841	▲854	-	-
	貿易収支(財・サービス、億ドル)	▲563	▲518	▲621	▲661	▲632	▲640	▲690	▲670	▲682	-	-

(注)『消費者物価指数』とその『前年比』、『生産者物価指数』とその『前年比』は季節調整前。

(資料)各種統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当部はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

会社名 : 株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室(ニューヨーク)
1251 Avenue of the Americas, New York, NY 10020, USA

照会先 : 岡田 知恵 e-mail : cokada-wighe@us.mufg.jp